



2025年



ヤクルト保育園
プレティット小野田

0.1.2歳児の見立て遊び・ごっこ遊び

子どもたちは、日々の生活の中で見たこと・感じたことを遊びの中で表現しながら成長します。特に0～2歳児では、発達に合わせて「見立てる」「まねる」「役になりきる」という姿が自然に育っていきます。

0歳児では、大人の動作をじっと見たり、スプーンを口に運ぶまねなど、簡単な模倣が見られるようになります。

1歳児になると、ぬいぐるみに食べさせる、ブロックを車に見立てるなど、身近なものを使った見立て遊びが広がります。

2歳児になると、「赤ちゃんのお世話」「お店屋さん」「お医者さんごっこ」など、友だちと役を決めて遊ぶ姿も見られ、遊びの世界がぐっと豊かになります。

見立て遊びやごっこ遊びは、子どもの生活の経験を再現し、気持ちを表現する大切な遊びです。

これからも子どもたち一人ひとりの想像力ややりとりを楽しめる環境を大切にしていきたいと思います。



保健だより

感染性胃腸炎に気をつけましょう。

これから感染性胃腸炎が流行る季節がやってきます。0～2歳児は体調の変化が早く、急に嘔吐したり、お腹がゆるくなることがあります。

ご家庭でも、次の点を気をつけていただけだと安心です。

- ・食欲がない、ぐったりしている、機嫌が悪いなどいつもと違う様子があるときは、無理な登園を避けましょう。
- ・嘔吐物を処理するときは、使い捨て手袋・マスクの使用がおすすめです。
- ・水分は一度にたくさんではなく、少量ずつこまめにとると負担が少なくなります。

登園の目安は、嘔吐や下痢が落ち着き、普段通り食事が出来ることです。お子さんが安心して過ごせるよう、園とご家庭で協力しながら見守っていきたいと思います。



安全だより

乳幼児の交通ルールについて

園ではお散歩や避難訓練の時間を使って優しい交通ルールを少しずつ伝えています。

外に出る時は、先生としっかり手をつなぎ、歩くときは、道の端を静かに歩く練習もしています。

交差点や車の出入りする場所では「一度止まる。」「車をよく見る。」を徹底し、「右見て、左見て、もう一度右見て。」と言う声かけをしています。赤信号では「ぴたっ」と止まり、青になってから歩くを体験を繰り返すことで、子どもたちは少しずつ交通ルールに親しんでいきます。

ご家庭でもおうちの方と手をつないで歩いたり、「とまる・みる・まつ」を一緒に声に出したりすると、子どもたちがより覚えやすくなります。ぜひ、日々の生活の中で取り入れてみてください。



さんぽ

てをつなぐ